

事務事業名	はつらつ友の会支援事務		<input type="checkbox"/> 施設画上の主要事業	法令根拠	なし
政策名	05	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部	保健福祉 課 保健推進 係(グループ)
施策名	12	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名 三枝 泰子 (内555)
基本事業名	31112	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 12 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 平成10年度に実施した「はつらつ健康講座(糖尿病予防講座)」終了後、講座のクラス会を実施した。その中で参加者が定期的に集まり、継続して学習する機会が必要であるとの思いから、12年度に自主組織として「芽室はつらつ友の会」が発足した。糖尿病や他の生活習慣病を予防・悪化を防ぐ生活習慣が継続できるように、運動や栄養などの学習や経験交流を行なっている。事務局は保健推進係におき、総会開催に向けての資料作成や例会案内事務、会員の健康状態の確認(相談)等を実施している。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計(A)	
	正規職員従事人数	
人工		
人件費計(B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 会員数:22人 例会回数:5回(総会1回・学習会4回) 参加人数(平均):8.8人 会費:年1,000円 会長が中心となり、例会時期・学習内容を会員内で検討、学習会は主に出前健康講座を利用し実施。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 例会開催日数 日 イ ウ
17年度計画 平成16年度と同様	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 糖尿病等の生活習慣病患者やその予備軍に該当する者、及び家族(概ね60歳代位までの壮年期の者を対象とする)	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 会員数 人 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生活習慣の改善を継続することにより、生活習慣病の発症や悪化の予防、脳卒中等の重篤な疾病に結びつくことを防ぐ。また、会に参加することで健康意識を高める。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 会員の生活習慣病発症数(新規) 人 イ 会員の健診利用率 % ウ 会員の満足度 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 脳卒中等の重篤な疾病の発症を抑制する。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 会員の脳卒中発症数 人 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	特定財源	千円						
	一般財源	千円						
	その他	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
	人工	年間			0.0141			
人件費計(B)	千円	0	0	130	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	130	0	0	0	
活動指標	ア 日	5	5	5				
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	33	25	22				
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人				63.6			
	イ %							
	ウ %							
上位成果指標	ア 人			0				
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 講座の受講後、個々人の意識・努力だけで生活習慣の改善を継続していくことは限界がある。定期的に仲間が集うことにより生活習慣を改善する意識が再確認でき、共に頑張ろうという意識の高揚を期待している。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 町として40~50歳代の比較的若い年代の脳卒中発症者が増加している印象がある。また、国全体としても生活習慣病予防対策が打ち出されている。(個別健康教育など)
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 会員同士が交流することで、様々な意見交換や学習ができています。参加者が固定化しており、更なる参加者増が望まれている。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価						
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	健康づくりをすすめていくためには、行政からの働きかけばかりでなく、住民同士が同じ目的の下、主体的に活動していくことも重要である。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	個別健康教育や集団健康教育終了後の参加者の受け皿としての機能をもつ団体が他に無い。	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	生活習慣病の発症や悪化のを予防することは、脳卒中等の重篤な疾病に結びつくことを防ぎ、医療費増大の抑制となる。	
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因]	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	参加者を増やし、自主組織としての意識を会員に高めていく。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 廃止・休止した場合、会の活動が低迷化する可能性がある。	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業)		<input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能	3 改革・改善方向の部へ	
		<input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない	↷ [理由]			
		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	↷ [理由]			
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】	<input type="checkbox"/> 貢献していない ↷	【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 不可能	[理由] ↷	自主組織としての意識を更に高める働きかけを行なうことで、必要時、学習会の際の講師としての参加のみの関わりとして、人件費を削減することは可能と考えるが、移行に向けての準備や期間は必要である。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	自主組織活動のため、一般財源からの予算は発生していない。	

3 改革・改善方向の部(PLAN)																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持			×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持			×														
	低下		×	×														
(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 自主組織としての意識を会員に更に高めていくこと。																		